

平成 19 年度

大阪府総合型地域スポーツクラブ活動状況調査結果概要

平成 20 年 3 月

大阪府 生活文化部 文化・スポーツ振興室
生涯スポーツ振興課

【調査の概要】

1 実施者

文部科学省 スポーツ・青少年局 生涯スポーツ課

2 目的

創設された総合型地域スポーツクラブの設立経緯、活動内容、課題等を把握し、今後の総合型地域スポーツクラブの育成推進のために基礎資料とする。

3 対象

総合型地域スポーツクラブ

4 実施方法

各都道府県教育委員会（または担当部局）生涯スポーツ主管課を通じて、域内の総合型地域スポーツクラブに対して活動状況（平成 19 年 7 月 1 日現在）を調査

5 調査票回収状況

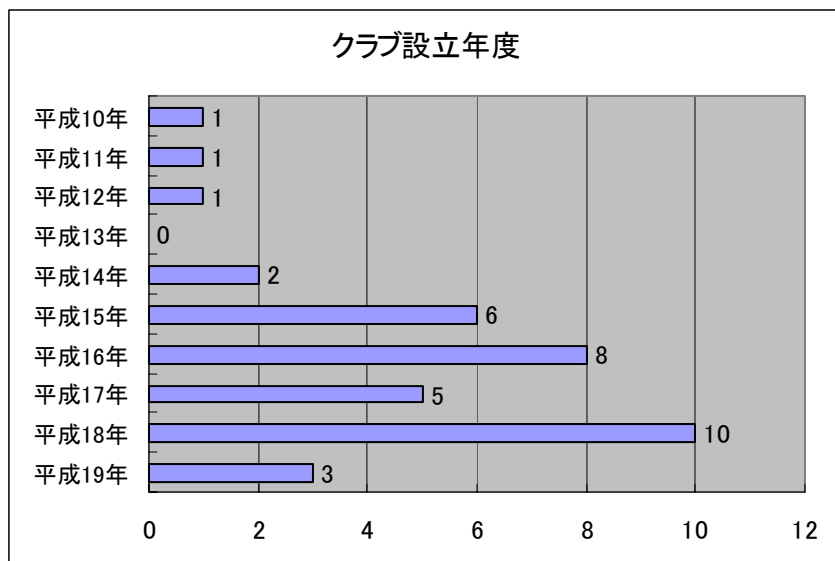
大阪府分 配布数 37 回収数 37

目次

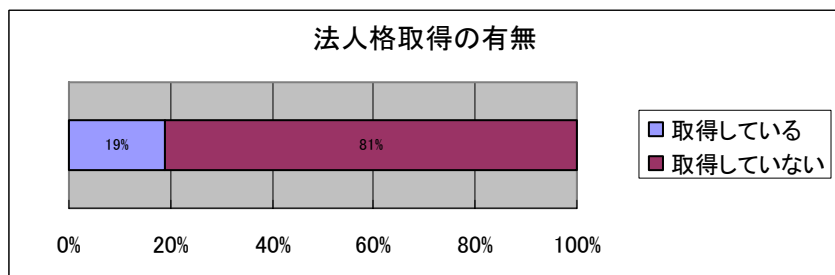
| | |
|--------------------|----|
| 1、クラブの概要 | 1 |
| 2、クラブの設立 | 2 |
| 3、クラブ会員 | 4 |
| 4、クラブ会費 | 5 |
| 5、クラブの事故対策 | 6 |
| 6、クラブの活動内容 | 7 |
| 7、クラブの広報活動 | 8 |
| 8、クラブ所属のスポーツ指導者 | 9 |
| 9、クラブの事務局体制 | 10 |
| 10、クラブの活動費 | 12 |
| 11、クラブの活動拠点施設 | 13 |
| 12、クラブハウス | 14 |
| 13、クラブ設立の効果 | 15 |
| 14、広域スポーツセンターとの関わり | 16 |
| 15、クラブの現在の課題 | 17 |

1. クラブの概要

クラブが設立された時期は、「平成 18 年度」が 10 クラブと最多、続いて「平成 16 年度」が 8 クラブである。また、法人格の取得について見ると、「取得している」が 19%、「取得していない」が 81%となっている。全国の 11.9%と比較すると、2 倍弱のクラブが法人格を取得している。



回答 37 クラブ



回答 37 クラブ

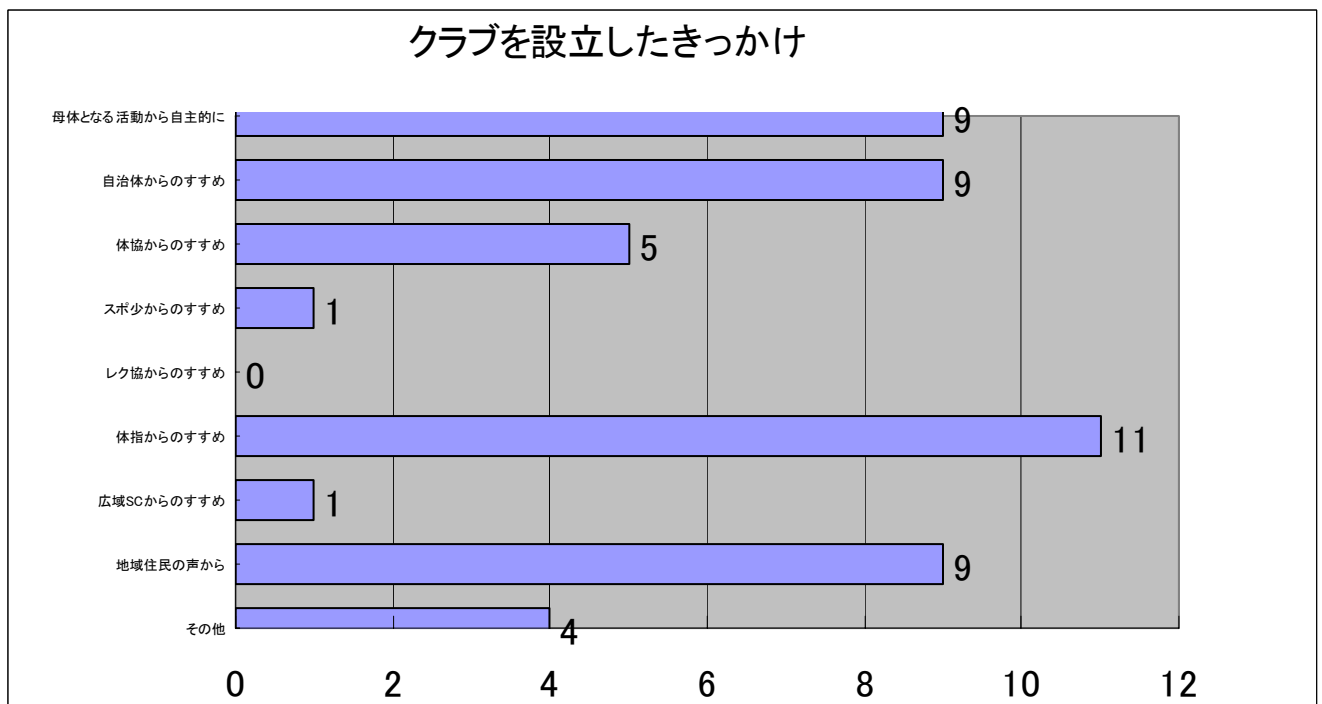
2. クラブの設立

クラブを設立したきっかけは、「体育指導委員からのすすめ」が22%で最多、続いて「母体となる活動から自主的(自然)に」「自治体からのすすめ」「地域住民の声から」がそれぞれ18%となっている。「自治体からのすすめ」が全国の45.4%に比べると、半分以上となっている。

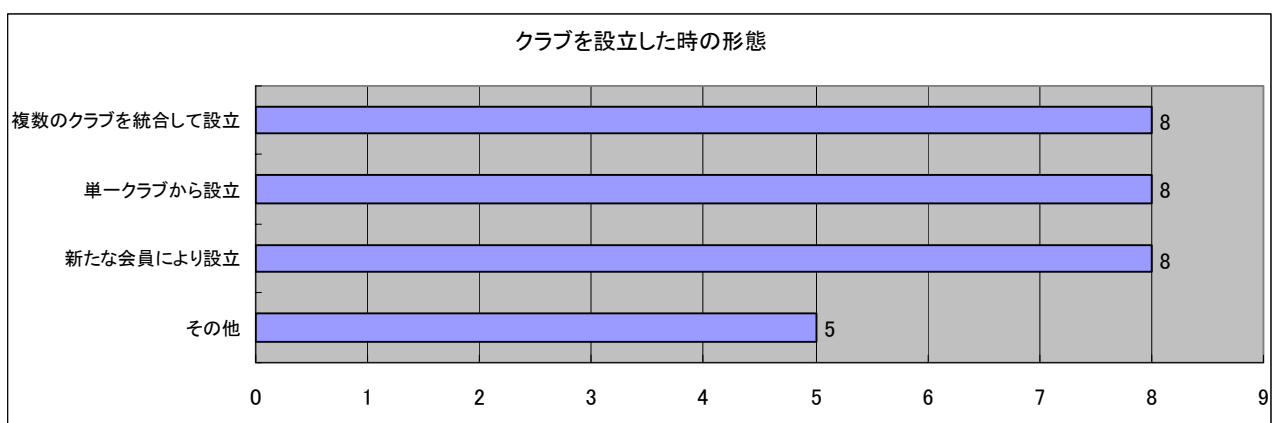
クラブを設立した時の形態は、「複数のクラブを統合して設立」「単一クラブから設立」「新たな会員により設立」がそれぞれ8クラブである。

クラブの設立に要した期間は、「1年6ヶ月以上2年未満」が37%で最多、全体の約80%が2年未満で設立している。

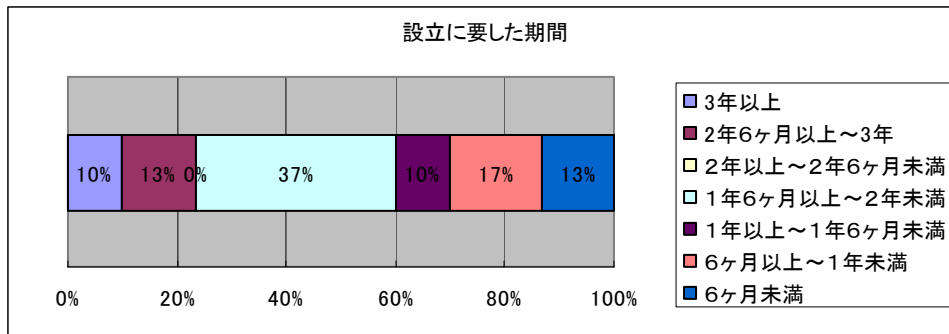
クラブを設立するに当たっての課題は、「既存団体との調整」「活動拠点施設の確保」「会員の確保」「会費の設定」「財源の確保」が多い。



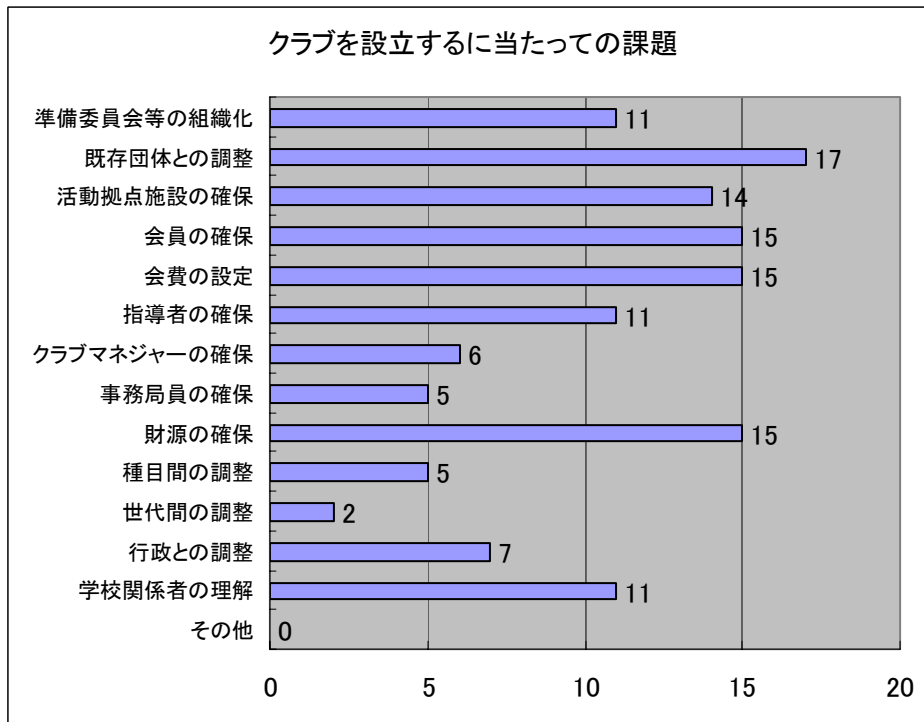
複数回答有、回答29クラブ、回答数49



回答29クラブ



回答 30 クラブ

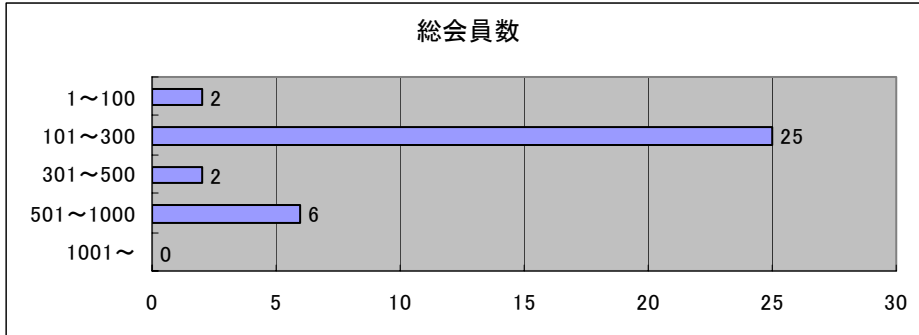


複数回答有、回答 30 クラブ、回答数 134

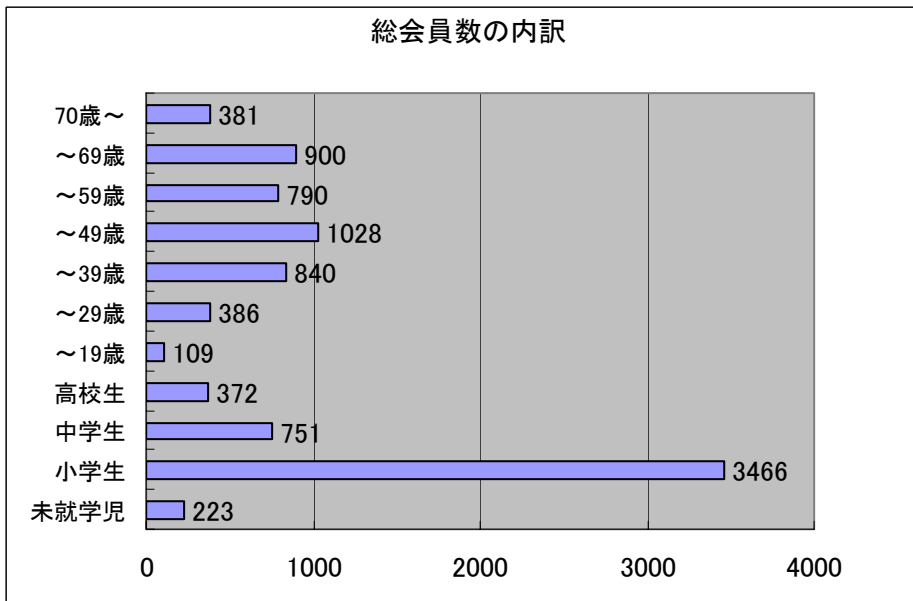
3. クラブ会員

クラブの会員規模は、「101人から300人」が25クラブ、「501人から1000人」が6クラブである。会員数の平均は272人である。

また、その内訳は、「小学生」が37%と最も多く、続いて「40～49歳」が11%、「60～69歳」が10%となっていた。特に男性会員は小学生が45%と半数近くを占めた。女性会員は小学生・中高年層の割合が高い。



回答 35 クラブ



回答 34 クラブ

《男性会員数》

| 未就学児 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | ～19歳 | ～29歳 | ～39歳 | ～49歳 | ～59歳 | ～69歳 | 70歳～ | 合計 |
|------|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 138 | 2398 | 570 | 233 | 81 | 250 | 360 | 425 | 348 | 397 | 171 | 5371 |
| 3% | 45% | 11% | 4% | 2% | 5% | 7% | 8% | 6% | 7% | 3% | |

《女性会員数》

| 未就学児 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | ～19歳 | ～29歳 | ～39歳 | ～49歳 | ～59歳 | ～69歳 | 70歳～ | 合計 |
|------|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 85 | 1068 | 181 | 139 | 28 | 136 | 480 | 603 | 442 | 503 | 210 | 3875 |
| 2% | 28% | 5% | 4% | 1% | 4% | 12% | 16% | 11% | 13% | 5% | |

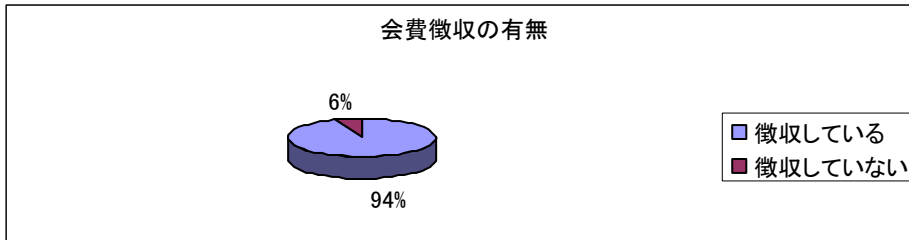
《総会員数》

| 未就学児 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | ～19歳 | ～29歳 | ～39歳 | ～49歳 | ～59歳 | ～69歳 | 70歳～ | 合計 |
|------|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 223 | 3466 | 751 | 372 | 109 | 386 | 840 | 1028 | 790 | 900 | 381 | 9246 |
| 2% | 37% | 8% | 4% | 1% | 4% | 9% | 11% | 9% | 10% | 4% | |

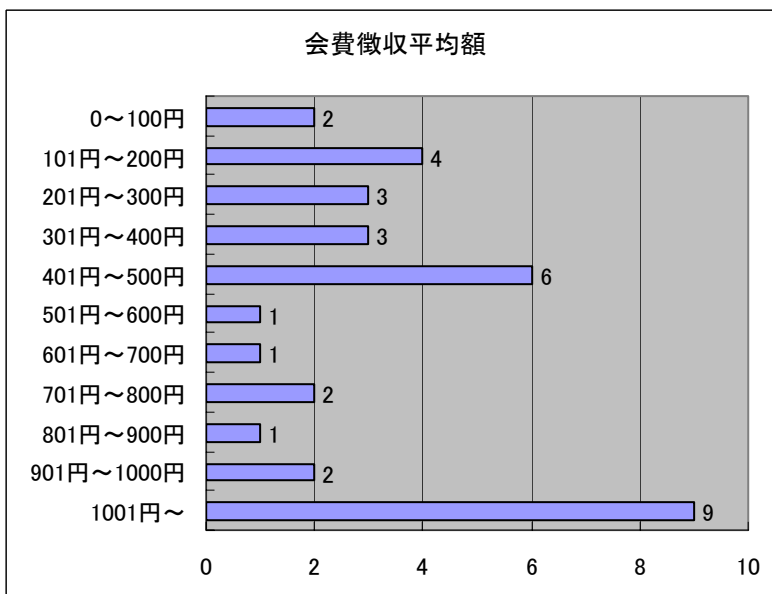
4. クラブ会費

クラブの会費徴収は、「徴収している」が94%であり、徴収しているクラブの平均額は983円/月となっている。

また、徴収額別にみると、「1001円以上」のクラブが最多の9クラブ、「401円から500円」が6クラブとなっている。全国では「1001円以上」会費を徴収しているクラブは7.9%であるのに対し、大阪では26%となっている。



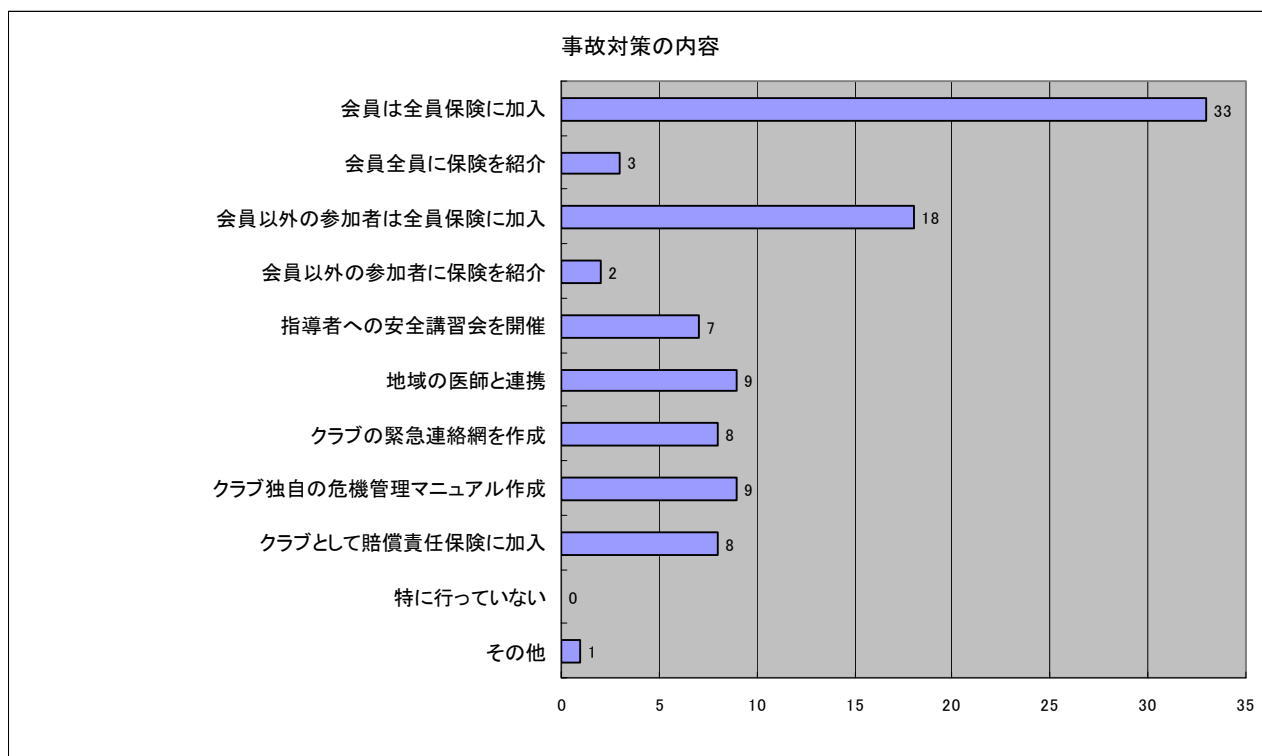
回答 36 クラブ



回答 34 クラブ

5. クラブの事故対策

クラブの事故対策は、「会員は全員保険に加入」が最多で33クラブ、続いて「会員以外の参加者は全員保険に加入」が18クラブとなっている。



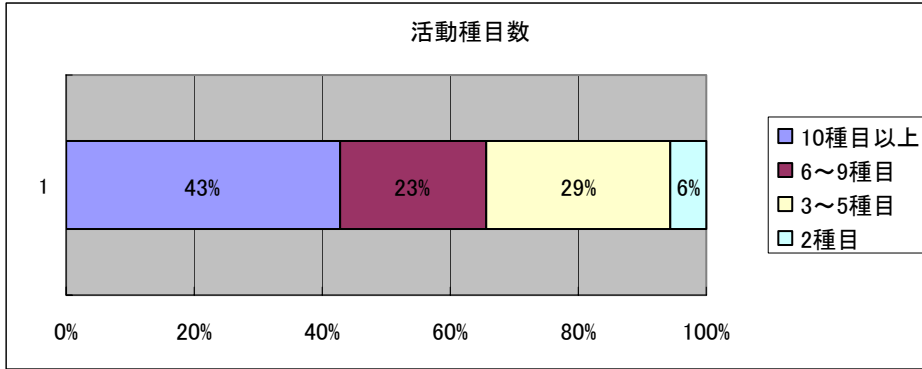
複数回答有、回答 36 クラブ、回答数 98

6. クラブの活動内容

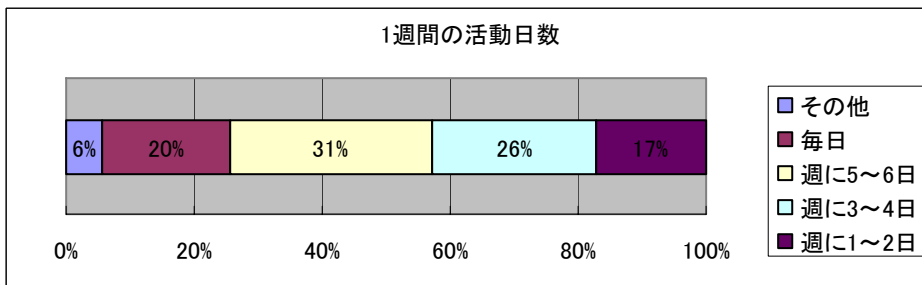
クラブの活動種目は、「10種目以上」が43%、「3～5種目」が29%、「6～9種目」が23%となっており、94%のクラブが3種目以上の活動を行っている。

1週間の活動日数は、「週5～6日」が31%と最多、続いて「週3～4日」が26%となっている。77%のクラブが週3日以上活動している。

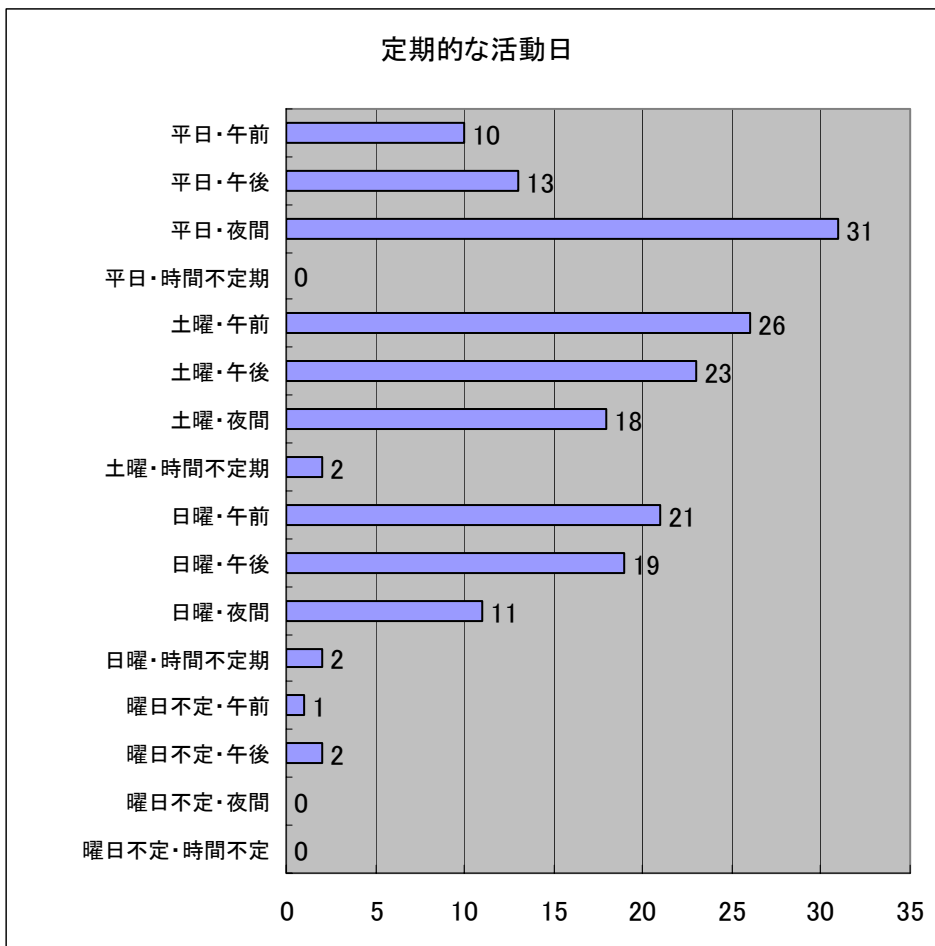
また、活動日は、「平日・夜間」「土曜・午前」「土曜・午後」「日曜・午前」が多い。また、クラブの活動と運動部活動との関わりは、「関わりを持っていない」が47%を占め、「関わりを持っている」が31%、「今後関わろうと思っている」が22%となっている。



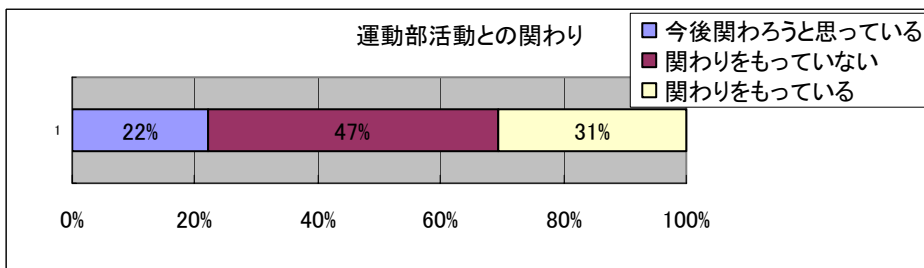
回答 35 クラブ



回答 35 クラブ



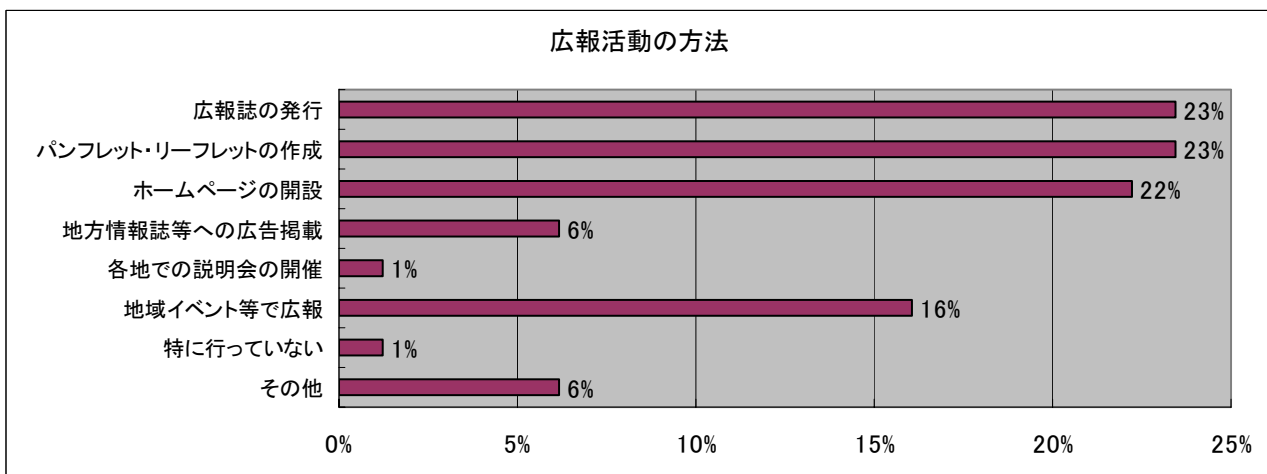
回答 36 クラブ



回答 36 クラブ

7. クラブの広報活動

クラブの広報活動は、「広報誌の発行」「パンフレット・リーフレットの作成」「ホームページの開設」が多い。



複数回答有、回答 36 クラブ、回答数 81

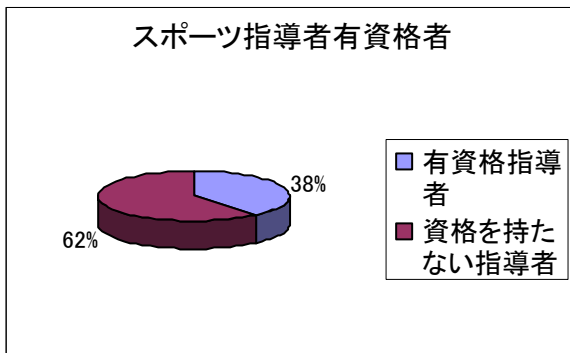
8. クラブ所属の指導者

スポーツ指導者は1クラブに平均25人が所属している(35クラブで合計898人)

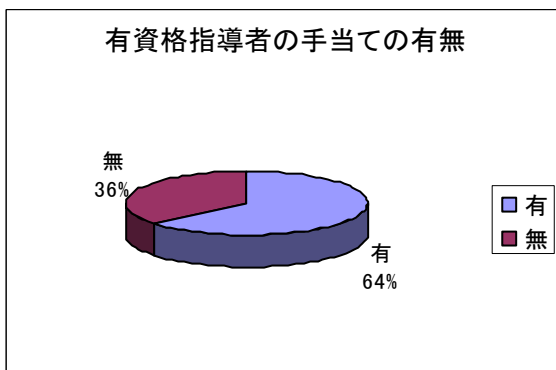
「有資格指導者」は38%、「資格を持たない指導者」は62%となっている。「有資格指導者」は全国の25%に対して大阪府は38%である。

また手当てが支給されているスポーツ指導者は「有資格指導者」では64%、「資格を持たない指導者」では52%となっている。

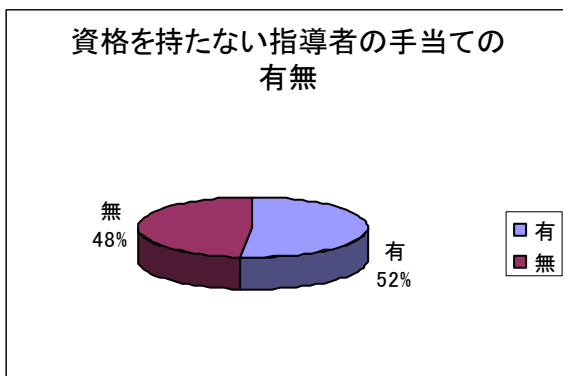
手当ての平均額は「有資格指導者」では2,683円/日、「資格を持たない指導者」では1,592円/日、全体平均では2,138円/日となっている。全国では1,663円/日であるので、大阪府は比較的高い。



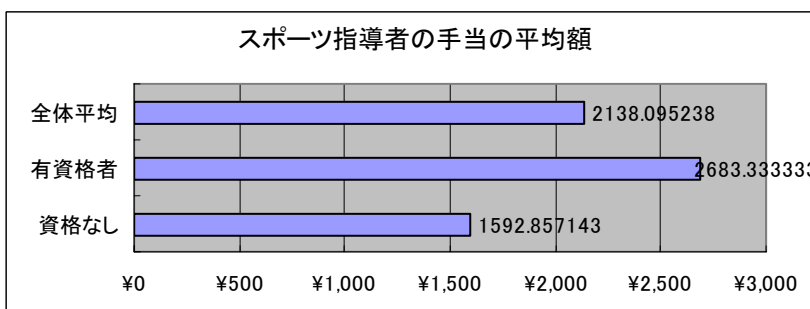
回答 31 クラブ



回答 23 クラブ



回答 27 クラブ



回答 16 クラブ

9. クラブの事務局体制

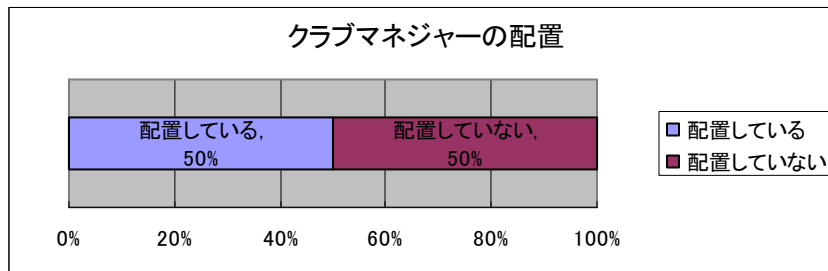
クラブマネジャー

クラブにおけるクラブマネジャーの配置は、「配置している」「配置していない」が50%ずつである。

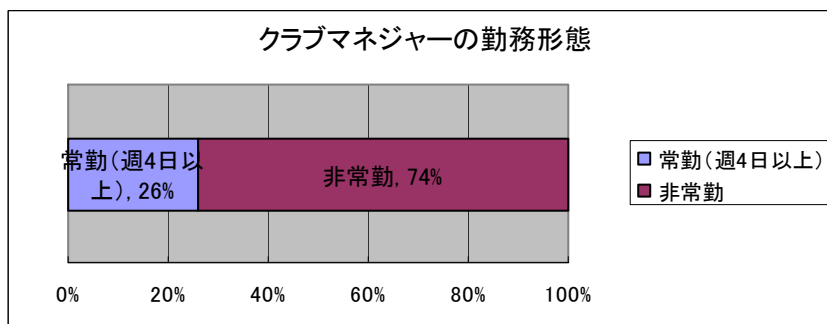
クラブに配置されているクラブマネジャーの勤務形態をみると、「常勤」が26%、「非常勤」が74%となっており、手当が支給されているクラブマネジャーは常勤では67%、非常勤では17%となっている。

手当の平均額は常勤では5200円/日、非常勤では1930円/日、全体では3565円となっている。これは全国の5235円/日と比較すると低い。

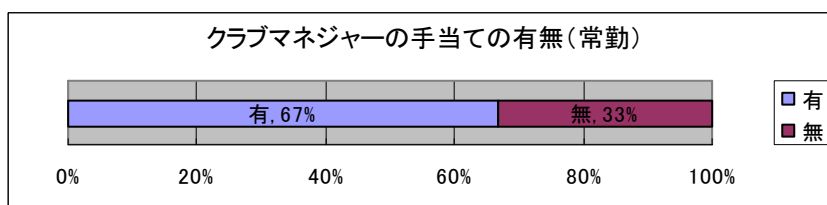
「クラブマネジャー養成講習会を受講している者」は89%となっている。



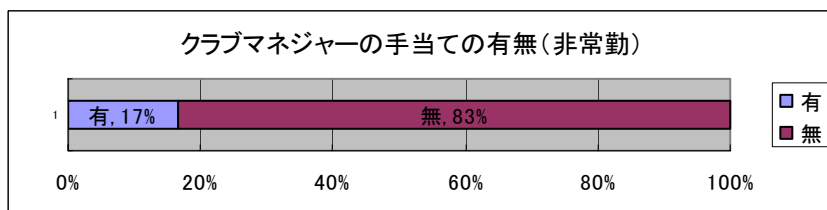
回答 36 クラブ



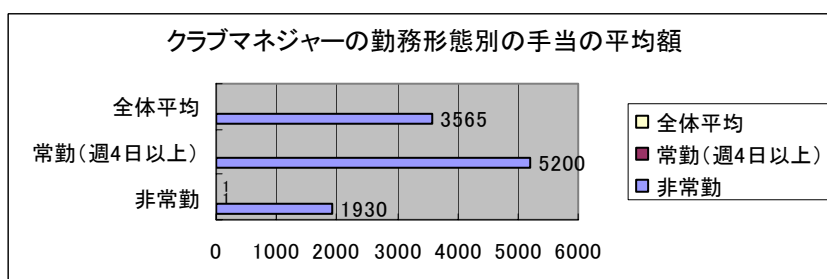
回答 27 クラブ



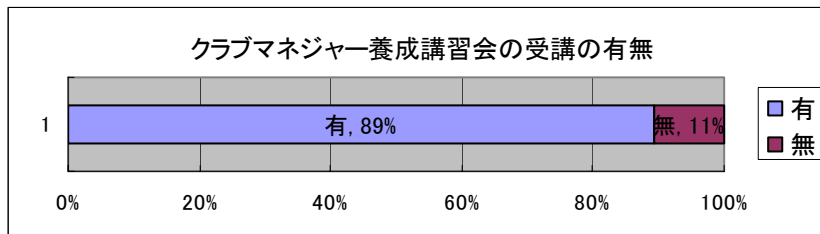
回答 4 クラブ



回答 14 クラブ



回答 4 クラブ

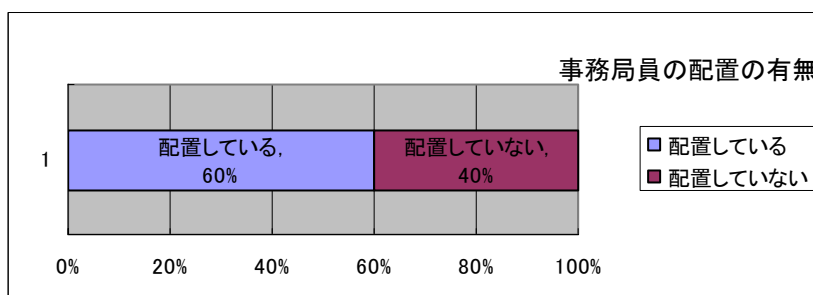


回答 18 クラブ

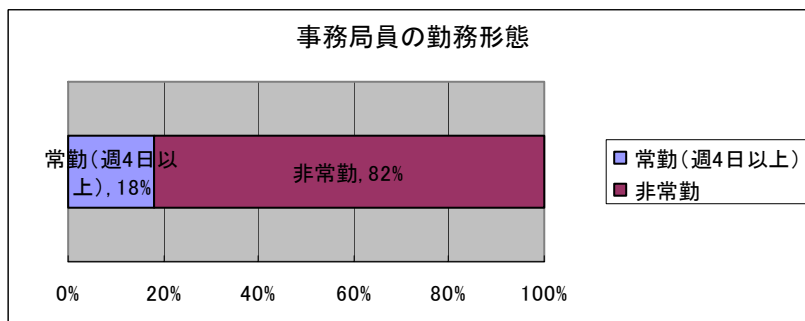
事務局員

クラブにおける事務局員の配置は、「配置している」が60%、「配置していない」が40%となっている。

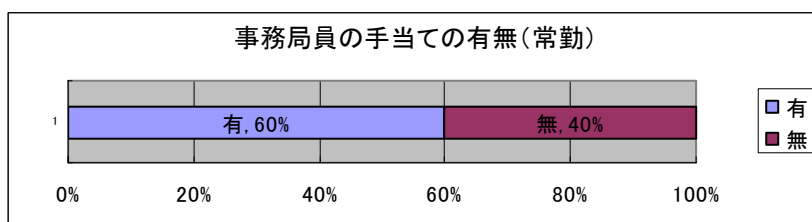
クラブに配置されている事務局員の勤務形態を見ると、「常勤」が18%、「非常勤」が82%となっており、手当てが支給されている事務局員は常勤では60%、非常勤では11%となっている。



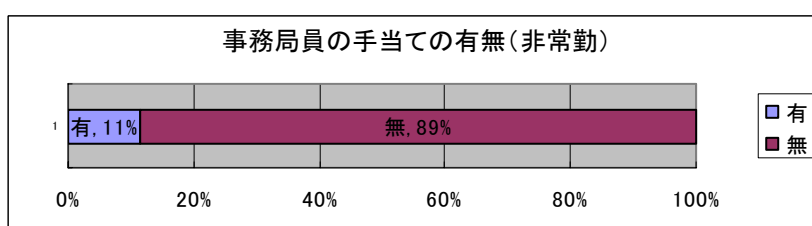
回答 35 クラブ



回答 19 クラブ



回答 5 クラブ

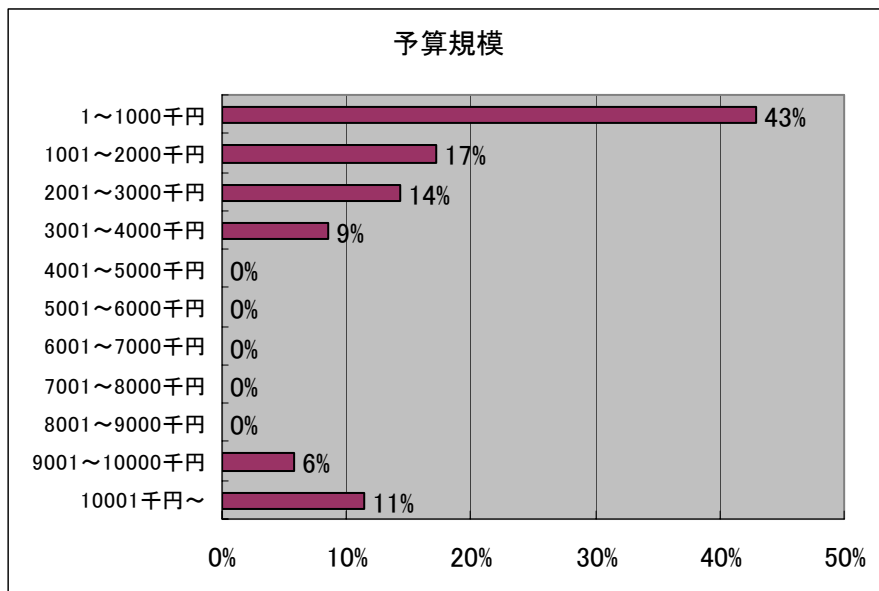


回答 16 クラブ

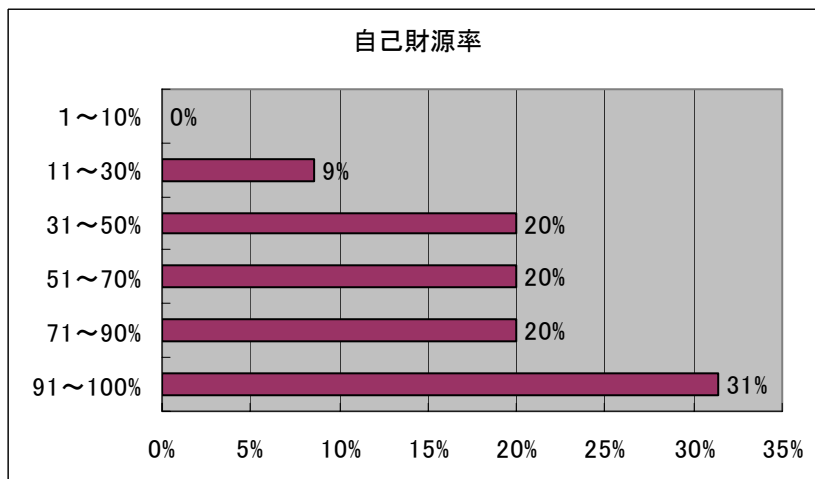
10. クラブの活動費

クラブの年間予算は、「100万円以下」が43%と最多、続いて「101万～200万円」が17%である。また、「901万円以上」「1001万円以上」が合わせて17%あり、二極化している。

また、自己財源率をみると、「91%以上」のクラブが31%で最多、続いて「71～90%」「51～70%」「31～50%」がそれぞれ20%となっている。全国では「1～10%」のクラブが27.7%あるのに対して大阪は0である。「91～100%」のクラブは全国の10.7%に対し31%と高い。



回答 35 クラブ

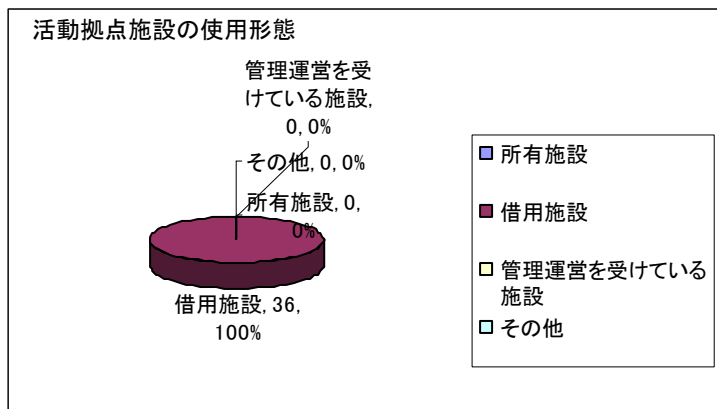


回答 35 クラブ

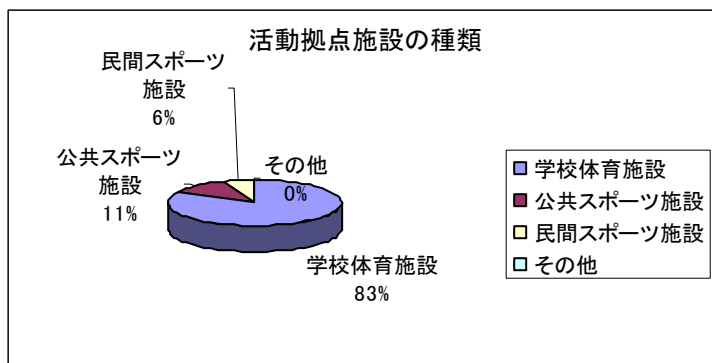
11. クラブの活動拠点施設

クラブの活動拠点施設の使用形態は「借用施設」が100%を占めた。

活動拠点施設の種類は「学校体育施設」が83%で最も多く、「公共スポーツ施設」が11%、「民間スポーツ施設」が6%となっている。全国では「学校体育施設」は64%、「公共スポーツ施設」は31%であった。



回答 36 クラブ



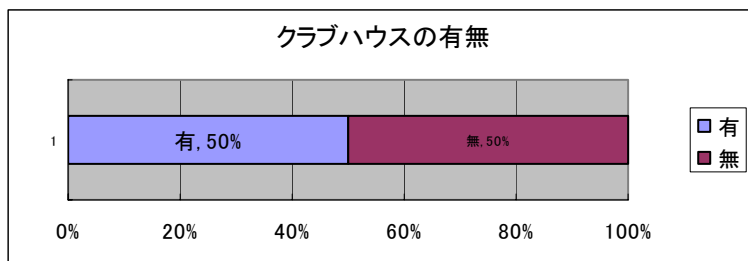
回答 35 クラブ

12. クラブハウス

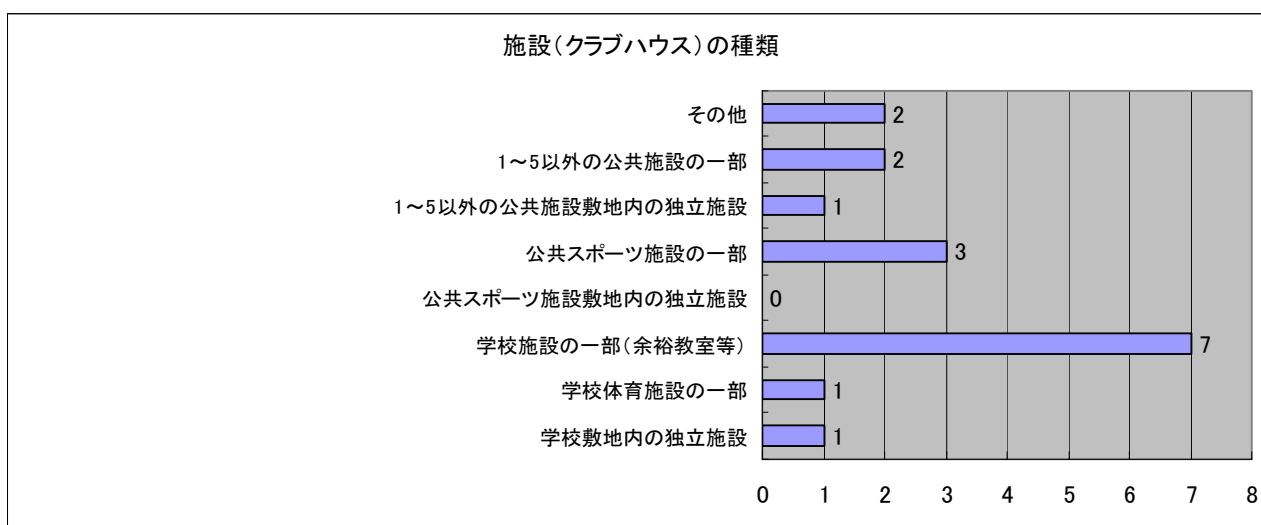
クラブハウスの確保については、「専用施設がある」「専用施設がない」それぞれ50%となっている。

クラブハウスの種類は「学校施設の一部」が7クラブ、「公共スポーツ施設の一部」が3クラブとなっている。

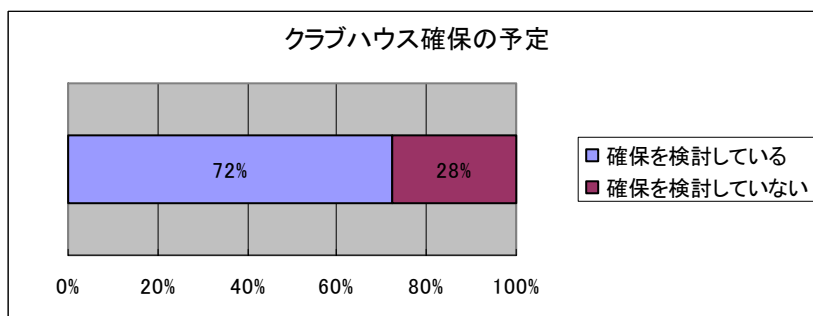
また、専用施設がないクラブについて、「確保を検討している」が72%、「確保は検討していない」が28%となっている。



回答 36 クラブ



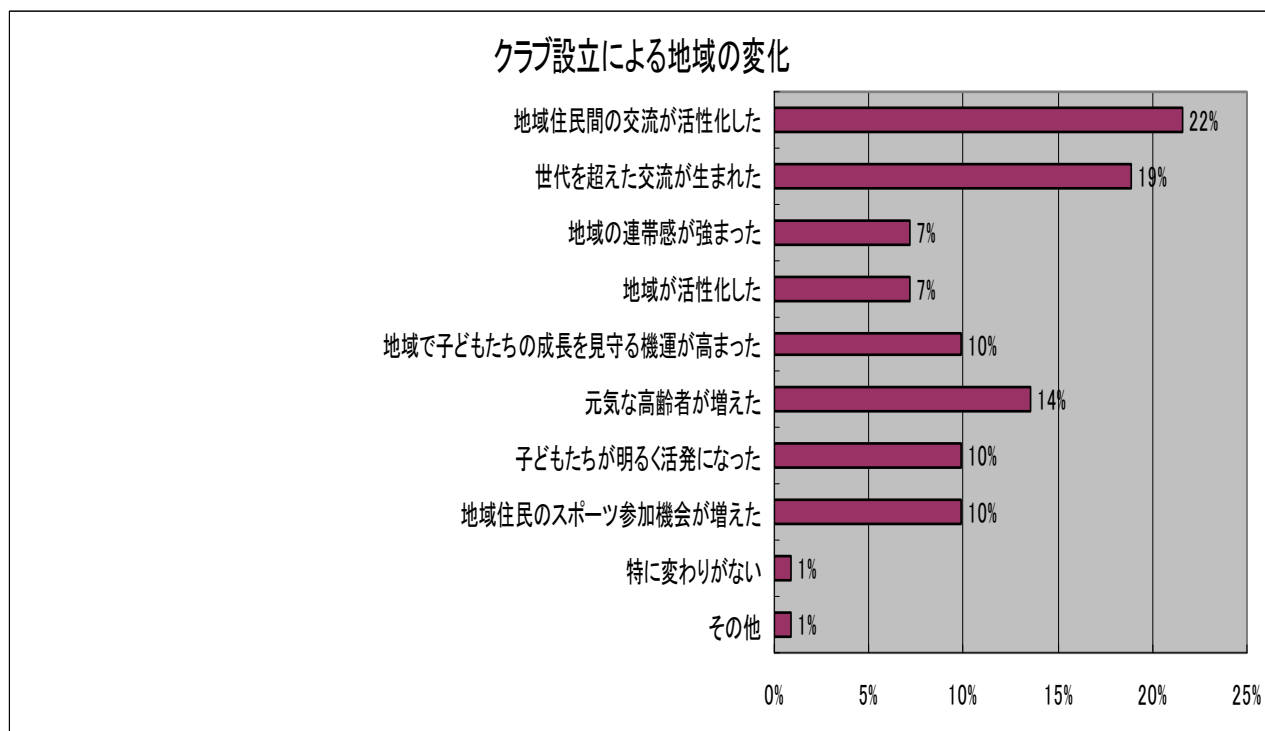
回答 17 クラブ



回答 18 クラブ

13. クラブ設立の効果

クラブ設立による地域の変化は、「地域住民間の交流が活性化した」が22%、「世代を超えた交流が生まれた」が19%、「元気な高齢者が増えた」が14%などとなっている。

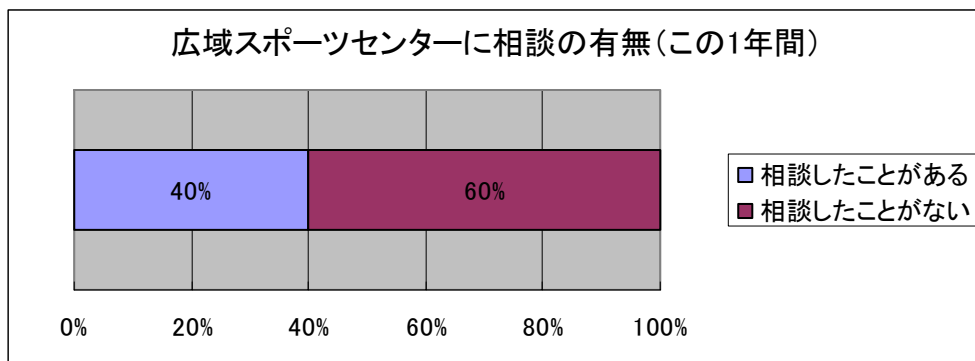


複数回答有、回答 35 クラブ、回答数 111

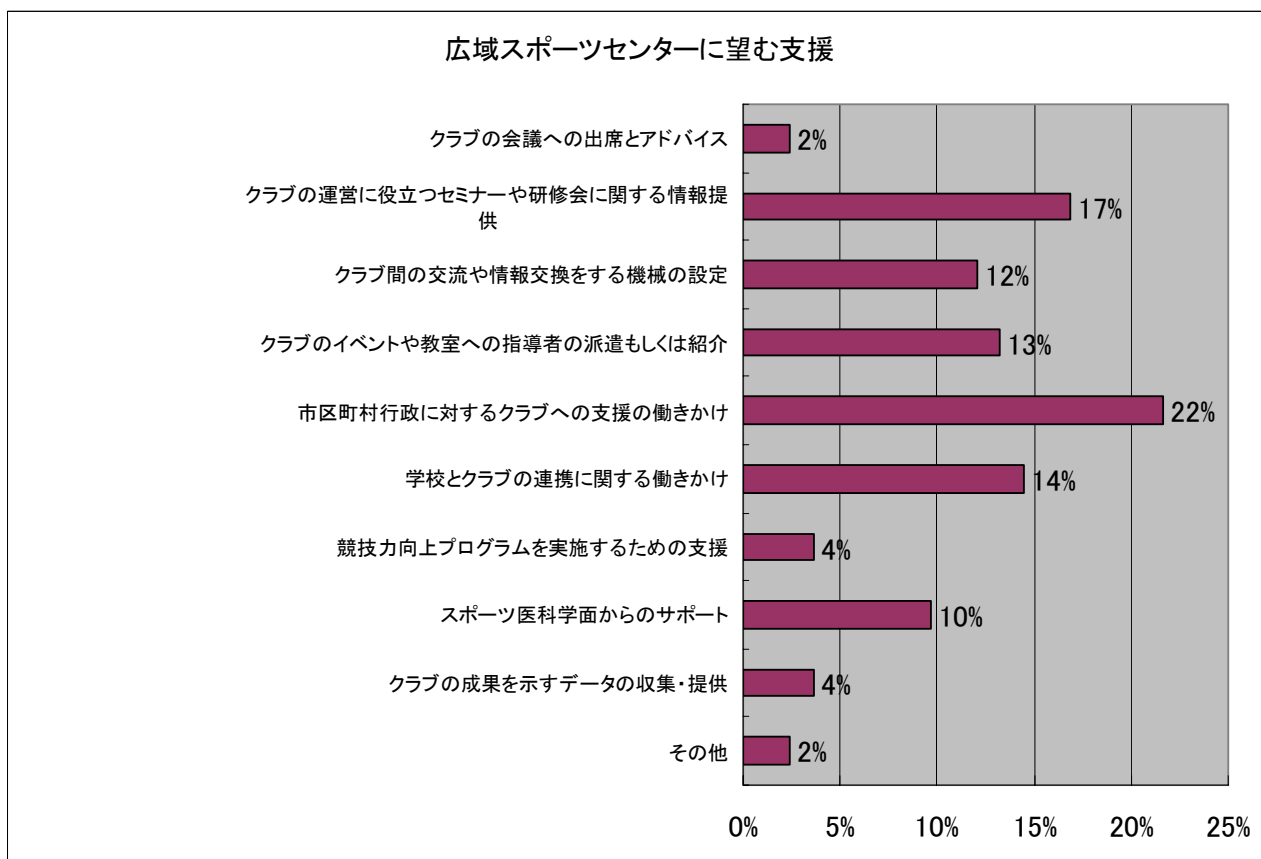
14. 広域スポーツセンターとの関わり

この1年間に広域スポーツセンターに相談したことがあるかについては、「相談したことがある」が40%、相談したことがない」は60%となっている。全国では「相談したことがある」クラブは20%であった。

また、広域スポーツセンターに望む支援としては、「市区町村行政に対するクラブへの支援の働きかけ」が22%、「クラブの運営に役立つセミナーや研修会に関する情報供給」が17%、「学校とクラブの連携に関する働きかけ」が14%、「クラブのイベントや教室への指導者の派遣もしくは紹介」が13%などとなっている。



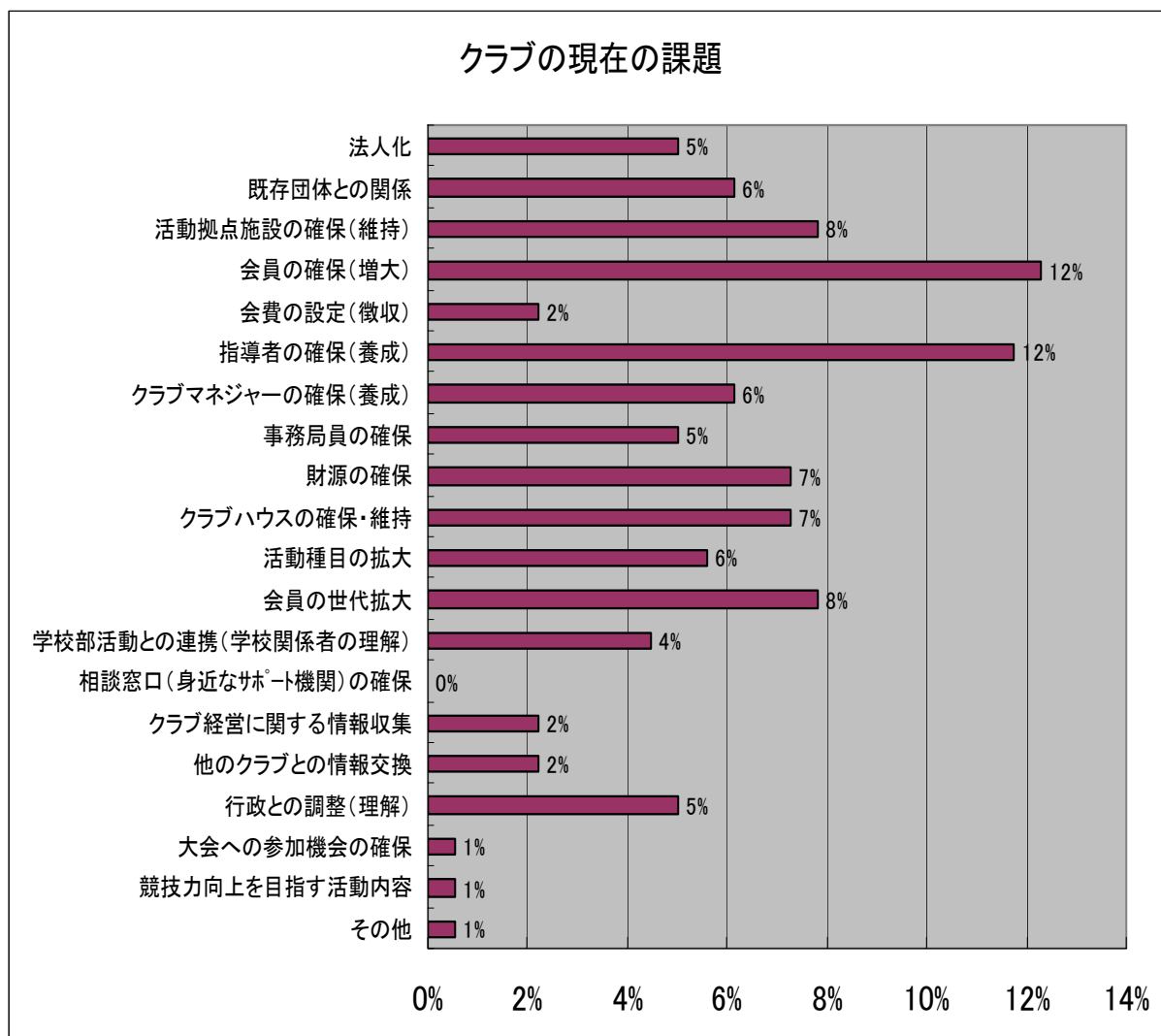
回答 35 クラブ



複数回答有、回答 28 クラブ、回答数 83

15. 現在の課題

クラブの現在の課題は、「会員の確保(増大)」、「指導者の確保(養成)」とがそれぞれ12%、「活動拠点施設の確保(維持)」、「会員の世代拡大」がそれぞれ8%となっている。



複数回答有、回答 35 クラブ、回答数 179